

行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	道路空間における自転車走行空間確保の可能性に関する調査検討経費		事業開始年度	平成19年度	作成責任者	
担当部署	道路局		担当課室	環境安全課	交通安全政策分析官 柳橋 則夫	
会計区分	一般会計		上位政策	道路交通の円滑化を推進する		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	・自転車利用が増大する中、自転車に関連する事故は増加傾向にある。自転車走行空間のネットワーク化などにより、安全で快適な自転車利用環境を整備するため、道路空間における自転車利用空間の確保方策などの検討を行うことを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・全国98箇所の自転車通行環境整備モデル地区における取組状況等を踏まえ、自転車利用環境の整備に資する技術資料を作成するとともに、自転車利用環境の整備効果に関する検討など、今後の自転車施策の展開に向けた基礎的な検討を行う。					
実施状況	<p>&lt;平成21年度の実施状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モデル地区における整備状況のフォローアップや自治体へのヒアリング、国内外の先進事例の調査等を行い、自転車利用環境の整備にあたっての課題や対応方針を整理し、技術資料（ガイドライン（案））としてとりまとめた。また、自転車施策によるCO<sub>2</sub>削減効果の試算を行う等、今後の自転車施策の展開に向けた基礎的な資料を整理した。</li> </ul>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	30	24	19	-	-
	執行額	29	24	18		
	執行率	98.5%	99.2%	98.2%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	・当該予算の執行は国土交通省で実施しており、全ての支出先を把握している。また、入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議いただいている。				
	見直しの余地	・平成21年度は自転車通行環境整備モデル地区における取組状況等を踏まえた自転車利用環境の整備に資する技術資料を作成した。自転車走行空間の整備を推進するにあたり、単路部を中心に整備したモデル地区における整備効果のフォローアップの他、特殊部（歩行者、自転車、自動車が錯綜する交差点部、停車車両や歩行者などと錯綜するバス停留所、立体横断施設等周辺）での安全性の検証等を行う必要がある。				
予算監視の・効率化	【事業廃止】 本調査については廃止することとするが、検討の成果を踏まえ、自転車利用環境の整備に関する調査検討について、実効性のある調査検討へと見直しを図る。					
補記	<p style="text-align: center;">(予算額) (決算見込額)</p> <p>062 道路交通円滑化推進費</p> <p>95016-2129-06 諸謝金 0.2百万円 0百万円</p> <p>95016-2122-08 委員等旅費 0.1百万円 0百万円</p> <p>95016-2123-09 道路交通円滑化推進調査費18.4百万円 18百万円</p>					

国土交通省  
18百万円

〔・直轄調査の発注〕

【企画競争入札】

A. パシフィック  
コンサルタンツ(株)  
18百万円

〔・モデル地区における取組状況等を踏まえた自転車利用環境の整備に資する技術資料の作成、今後の自転車施策の展開に向けた基礎的な検討〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。使途と費目  
 の双方で実情が分かるよう  
 に記載)

A.パシフィックコンサルタンツ(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	人件費等	18			
計		18	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0